

- 問1 中国・四国地方の政治や経済の拠点である広島市には、国の省庁が設置する組織や、民間企業の支店が数多く集まっています。このような、特定の地域全体を管轄する国の組織を何と呼びますか。 (2016年 群馬県公立入試 類似)
1. 地方公共団体 2. 特別区 3. 独立行政法人 4. 出先機関
- 問2 山口県が属する瀬戸内工業地域において、化学工業をはじめとする重化学工業が発達した背景として、地理的条件をふまえた説明として最も適切なものはどれですか。 (2019年 三重県公立入試 類似)
1. 波が穏やかな瀬戸内海の沿岸部を埋め立て、大型船による原料の輸入や製品の輸送に便利なコンビナートが建設されたため。 2. 広大な平野を活用した大規模な機械化農業との兼業が容易であり、農閑期の労働力を活用した繊維工業から発展したため。 3. 京阪神・中京・関東の三大都市圏のちょうど中心に位置し、高速道路網を利用した部品の組み立てや加工を行う内陸工業が発達したため。 4. 内陸部の険しい地形を利用した水力発電によって、安価で大量の電力を得ることが可能になり、アルミニウム工業が発達したため。
- 問3 瀬戸内地域の年間降水量が日本の平均的な降水量よりも少ないことを示した資料に関連して、この地域で古くから水不足を補い、農業用水を確保するために数多く作られてきた施設を何と呼びますか。 (2022年 徳島県公立入試 類似)
1. 用水路 2. 輪中 3. ため池 4. 掘割
- 問4 鳥取県の人口と世帯数の推移をまとめた統計資料において、総人口が減少している一方で、世帯数は増加傾向にあるという特徴が見られます。このような現象が起きている背景として最も適切な説明を、次の中から選びなさい。 (2021年 鳥取県公立入試 類似)
1. 核家族化や高齢化が進み、一人暮らしや二人家族といった少人数世帯の割合が増えたため。 2. 出生率が大幅に上昇したことで、一世帯あたりの子どもの数が増えたため。 3. 県外からの大規模な移住が進んだ結果、5人以上の多人数世帯が急増したため。 4. 住宅不足を解消するために、複数の世帯が一つの住居に同居する形態が一般的になったため。
- 問5 瀬戸内地域の気候は、年間を通じて温暖で降水量が少ないことが特徴です。このように降水量が少なくなる地形的・気候的な理由として、最も適切な説明はどれですか。 (2024年 大阪府公立入試 類似)
1. 冬にシベリア高気圧から吹き出す冷たく湿った北西の季節風が、高い山脈にぶつかることなく直接吹き抜けるため。 2. 北を中国山地、南を四国山地に挟まれており、夏と冬の季節風がそれぞれの山地によってさえぎられるため。 3. 標高の高い内陸盆地に位置しており、海からの湿った空気が届く前に周囲の斜面で雨を降らせてしまうため。 4. 日本海を流れる対馬海流の影響を強く受け、湿った空気が上昇する前に山地を越えて乾燥した風が吹き込むため。
- 問6 高知県の平野部では、冬から春にかけての温暖な気候や日照時間の長さを利用して、なすやピーマンなどの栽培を通常よりも早める「促成栽培」が盛んに行われています。このような工夫をして農作物を栽培する主な目的として、最も適切なものはどれですか。 (2023年 群馬県公立入試 類似)
1. 夏場の厳しい暑さを避け、冷涼な気候を好む野菜の品質を維持するため 2. 化学肥料や農薬の使用を最小限に抑え、環境に配慮した農作物をブランド化するため 3. 他の産地と出荷時期をずらすことで、需要が高い時期に有利な価格で販売するため 4. 収穫時期を梅雨の時期と重なることで、水やりの手間を省き生産コストを下げるため
- 問7 愛媛県の農業について、統計資料から読み取れる特徴を説明した文として、適切なものはどれですか。なお、愛媛県の年間降水量は約1300mm程度、農業産出額の内訳は、果実が40.2%、野菜が16.4%、米が10.9%であるものとします。 (2022年 佐賀県公立入試 類似)
1. 降水量が少ないため、稲作よりも果実の栽培が適しており、果実の産出額が米の産出額の3倍以上になっている。 2. 降水量が多いため、果実よりも米の栽培が適しており、米の産出額が農業全体の半分以上を占めている。 3. 温暖で雨が多いため、果実と野菜の両方の栽培が同程度に行われており、産出額もほぼ同じ割合である。 4. 降水量が少ないため農業には不向きであり、農業産出額の内訳において果実や米の占める割合は極めて低くなっている。
- 問8 香川県を含む四国地方では、本州四国連絡橋の整備によって地域経済や人々の生活が大きく変化しました。1980年代後半以降、香川県への観光客の交通手段が船舶から自動車へと劇的にシフトした最大の要因として、最も適切な記述はどれですか。 (2017年 高知県公立入試 類似)
1. 高松空港の整備により、全国からの航空路線の便数が増えたため 2. 瀬戸大橋の開通によって、本州と四国が道路で直接結ばれたため 3. 鉄道の高速化が進み、寝台特急などの利用者が増えたため 4. 瀬戸内海での船舶事故を防ぐため、定期船の運航が全面的に廃止されたため
- 問9 中国・四国地方の気候について、瀬戸内（瀬戸内海沿岸）の年間降水量が、山陰や南四国と比べて少ない理由として最も適切なものを説明したものはどれですか。 (2025年 宮城県公立入試 類似)
1. 中国山地と四国山地の間にある平野部において、夏にフェーン現象が頻繁に発生するため。 2. 冬の北西の季節風が中国山地に、夏の南東の季節風が四国山地にそれぞれさえぎられるため。 3. 寒流である親潮の影響により、海面からの水蒸気の蒸発が抑えられ、雨雲が発達しにくい。 4. 一年を通じてシベリア高気圧に覆われ続けており、乾燥した空気が流れ込みやすいため。
- 問10 四国地方に位置するある県は、面積が約1,877km²と日本の都道府県の中で最も小さく、2016年の統計では製造品出荷額が2兆4,953億円となっています。この統計データに該当する県名として正しいものを選びなさい。 (2020年 山形県公立入試 類似)
1. 徳島県 2. 愛媛県 3. 高知県 4. 香川県
- 問11 四国地方の各県の産業を比較した際、徳島県にみられる特徴的な状況について説明したもののとして、最も適切なものはどれですか。 (2021年 鹿児島県公立入試 類似)
1. 第一次産業である農林水産業に従事する人の割合が、他県を圧倒して最も高い。 2. 観光業への特化が進んでいるため、宿泊・飲食サービスの割合が他の産業より極端に高い。 3. 製造業の就業者割合が全国平均より高く、化学工業などの工業が地域経済を支えている。 4. 県内全域で商業のみが発達しており、製造業に従事する人の割合は極めて低い。
- 問12 高知県で野菜の農業産出額が非常に高い主な理由と、その栽培方法の名称として正しい組み合わせはどれですか。 (2021年 埼玉県公立入試 類似)
1. 広大な平野を活かして、大型機械を導入し米と麦を交互に育てる「二毛作」が盛んだから。 2. 大都市への近さを活かして、収穫から消費までの時間を短縮し鮮度を保つ「近郊農業」が盛んだから。 3. 温暖な気候を利用して、ビニールハウスなどで野菜の出荷時期を通常より早める「促成栽培」が盛んだから。 4. 標高の高い地域の冷涼な気候を利用して、野菜の出荷時期を通常より遅らせる「抑制栽培」が盛んだから。
- 問13 瀬戸内海に位置する香川県の小豆島では、地域の気候特性を活かした農作物の栽培が盛んです。「年間を通じて降水量が少なく温暖である」という、地中海沿岸の気候に似た条件を活かして栽培されている特産物はどれですか。 (2019年 兵庫県公立入試 類似)
1. さとうきび 2. さくらんぼ 3. オリーブ 4. りんご

答え合わせ・解説

問1	答え 4 出先機関	広島市は広島県の県庁所在地であるだけでなく、中国・四国地方全体をまとめる役割を担っています。このような都市には、国の各省庁が業務を分担するために設置する「出先機関」や、企業の「支店」が集中します。これらは、その地域における行政や経済の管理・調整を行う重要な機能を果たしています。
問2	答え 1 波が穏やかな瀬戸内海の沿岸部を埋め立て、大型船による原料の輸入や製品の輸送に便利なコンビナートが建設されたため。	瀬戸内海沿岸は、遠浅の海が広がっていたため埋め立てが容易であり、さらに波が穏やかで水深を確保しやすかったことから、大型船舶が接岸できる良港に恵まれていました。この立地条件を活かして、海外からの石油などの資源を輸入し、精製・加工を行う石油化学コンビナートや製鉄所が集中して建設されました。
問3	答え 3 ため池	瀬戸内地域、特に香川県の讃岐平野などは、地形の要因で雨が非常に少ないため、古くから深刻な水不足に悩まされてきました。そのため、川の水の不足を補う工夫として、雨水を貯めておくための「ため池」が各地に築かれました。弘法大師（空海）が修築したとされる満濃池（まんのういけ）は、その代表的な例です。
問4	答え 1 核家族化や高齢化が進み、一人暮らしや二人家族といった少人数世帯の割合が増えたため。	鳥取県では、総人口が減少しているにもかかわらず世帯数が増加するという「世帯の細分化」が起きています。この背景には、高齢者の単身世帯（一人暮らし）や夫婦のみの世帯（二人家族）が増加し、かつて主流であった5人以上の多人数世帯が減少しているという家族構成の変化があります。人口が減っても、一世帯あたりの人数がそれ以上のペースで少なくなれば、世帯の総数は増えることになります。
問5	答え 2 北を中国山地、南を四国山地に挟まれており、夏と冬の季節風がそれぞれの山地によってさえぎられるため。	瀬戸内の気候が乾燥する最大の要因は、二つの山地に挟まれた地形にあります。夏は太平洋からの湿った季節風が四国山地に、冬は日本海からの湿った季節風が中国山地にさえぎられ、それぞれの山脈の風下にあたる瀬戸内地域には乾燥した空気が流れ込むため、年間を通じて降水量が少なくなります。
問6	答え 3 他の産地と出荷時期をずらすことで、需要が高い時期に有利な価格で販売するため	高知県で行われている促成栽培は、黒潮の影響を受けた温暖な気候を活かし、他の地域が生産できない冬から春にかけて出荷することを目的としています。市場に出回る量が少ない時期に出荷することで、競争を避け、高い販売価格を得るという経営上のメリットがあります。
問7	答え 1 降水量が少ないため、稲作よりも果実の栽培が適しており、果実の産出額が米の産出額の3倍以上になっている。	瀬戸内式の気候に属する愛媛県は、四国山地の影響で台風などの影響を除けば雨が少ない地域です。こうした地域では、大量の水を必要とする稲作よりも、乾燥に強く水はけの良い土地を好むかんきつ類などの果樹栽培が適しています。数値を確認すると、果実の割合（40.2%）は米の割合（10.9%）の約3.7倍に達しており、地域の気候条件が農業産出額の内訳に明確に反映されていることがわかります。これに対し、同じ四国でも太平洋側に位置する高知県などは降水量が非常に多く、全く異なる農業の特色を持っています。
問8	答え 2 瀬戸大橋の開通によって、本州と四国が道路で直接結ばれたため	1988年の瀬戸大橋開通は、香川県坂出市と岡山県倉敷市を陸路で直結させました。それまでは船舶による移動が不可欠でしたが、橋の完成により自動車（自家用車や観光バス）で直接四国へ渡ることが可能になり、交通の利便性が飛躍的に向上したことが、観光客の交通手段が変化した直接の理由です。
問9	答え 2 冬の北西の季節風が中国山地に、夏の南東の季節風が四国山地にそれぞれさえぎられるため。	中国・四国地方には、中央を東西に走る中国山地と四国山地があります。冬は大陸側から北西の季節風が吹き込みますが、中国山地で遮られるため山陰で雪や雨が多くなり、瀬戸内には乾燥した空気が届きます。逆に夏は太平洋側から南東の季節風が吹き込みますが、四国山地で遮られるため南四国で雨が多くなり、瀬戸内にはやはり湿った空気が届きにくくなります。この二つの山地の影響により、瀬戸内では年間を通じて降水量が少ない特有の気候が見られます。
問10	答え 4 香川県	日本の都道府県の中で最も面積が小さい県は香川県です。1988年に国土地理院が算定方法を見直した結果、それまで最小だった大阪府を上回る面積の小ささであることが確認されました。面積は小さいものの、瀬戸内海に面した立地を活かした工業や、都市機能の集約が図られている点が統計上の特徴です。
問11	答え 3 製造業の就業者割合が全国平均より高く、化学工業などの工業が地域経済を支えている。	徳島県は伝統的な藍染めや製菓業の基盤から発展した化学工業のほか、近年ではLEDなどの先端技術に関連した製造業も盛んです。そのため、四国地方の中でも製造業の就業者割合が高く、第2次産業が県の産業構造において重要な役割を果たしている点が、試験でも頻出のポイントとなります。
問12	答え 3 温暖な気候を利用して、ビニールハウスなどで野菜の出荷時期を通常より早める「促成栽培」が盛んだから。	高知県は、南部の高知平野を中心に、黒潮がもたらす温暖な気候を最大限に利用しています。冬でも暖かい気候を活かし、ビニールハウスなどでピーマンやなす、きゅうりなどの夏野菜を冬から春にかけて栽培し、他の地域より早い時期に出荷する「促成栽培」が行われています。この方法は、野菜の価格が高い時期に市場へ供給できるため、農業産出額を押し上げる大きな要因となっています。一方で「抑制栽培」は長野県や群馬県などの高冷地で見られる手法であり、高知県の特色とは異なります。
問13	答え 3 オリーブ	瀬戸内地域の「温暖で雨が少ない」という気候は、地中海沿岸に見られる地中海性気候と似た特徴を持っています。このため、乾燥に強く温暖な気候を好むオリーブの栽培に適しており、小豆島は日本における主要な産地として知られています。他の選択肢のうち、さくらんぼはりんごと同じく冷涼な気候を、さとうきびはより亜熱帯に近い高温多湿な気候を好みます。